

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて「インベスコ プレミア・プラス・ファンド」は、
2026年5月20日に第23期の決算を行いました。ここに期中
の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げ
ます。

＊当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	・投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産（コモディティ）を実質的な投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。 ・債券、株式、資源資産3資産の配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定します。また、短期的な市場変化に機動的に対応した運用を行います。 ・実質外貨建資産については、実質的に為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	
主要運用対象	インベスコ プレミア・ プラス・ファンド	「インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド」および「インベスコ マネーボール・ファンド（適格機関投資家私募投信）」を主要投資対象とします。
	インベスコ バランスト・リスク・ アロケーション マザーファンド	別に定める投資信託証券※への投資を通じて、日本を含む世界各国の債券、株式、コモディティに実質的に投資します。 ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンドクラスC-Accumulation投資信託証券（円ヘッジ付）です。
	インベスコ マネーボール・ファンド （適格機関投資家私募投信）	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
組 入 制 限	・投資信託証券（マザーファンド受益証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ・デリバティブ取引の直接利用は行いません。	
分 配 方 針	原則として年2回の毎決算時（5・11月の各20日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。	

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
お問い合わせダイヤル
電話番号：(03) 6447-3100
受付時間：毎営業日の午前9時～午後5時



インベスコ
プレミア・プラス・ファンド

愛称：真分散革命

追加型投信／内外／資産複合



運用報告書（全体版）

第23期
（決算日 2026年5月20日）

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階
<https://www.invesco.com/jp/ja/>

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落		
	円			円	%	百万円
19期(2024年 5 月20日)	10,636			0	99.4	2,424
20期(2024年11月20日)	10,304			0	99.6	2,148
21期(2025年 5 月20日)	9,927			0	98.6	1,906
22期(2025年11月20日)	10,363			0	97.8	1,622
23期(2026年 5 月20日)	11,676			0	97.7	1,519

(注) 基準価額は 1 万口当たりです。
(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。
(注) 当ファンドは債券、株式、資源資産（コモディティ）を実質的な投資対象とし、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮した資産配分を行うため、適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。以下同じです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

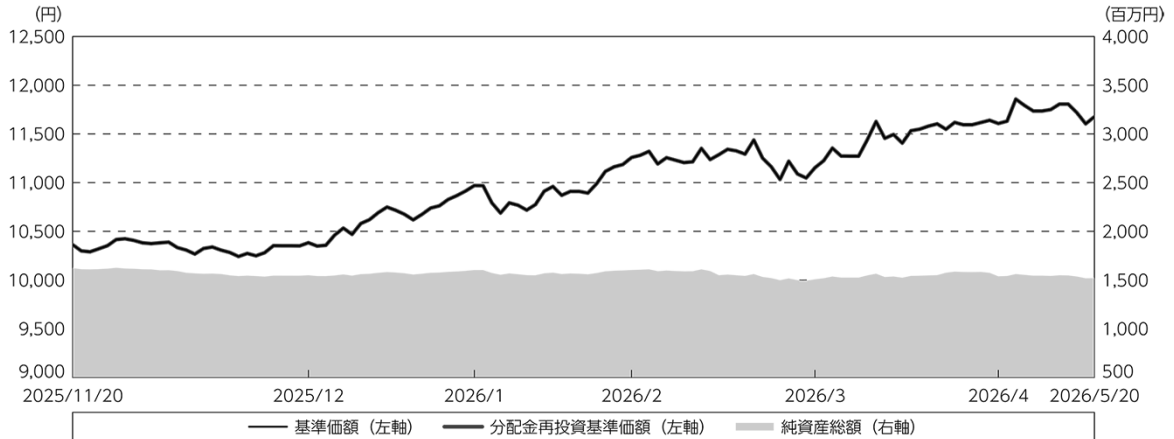
年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2025年11月20日	円		%	%
	10,363		—	97.8
11月末	10,416		0.5	98.1
12月末	10,383		0.2	98.2
2026年 1 月末	10,970		5.9	98.4
2 月末	11,258		8.6	98.9
3 月末	11,153		7.6	99.8
4 月末	11,607		12.0	100.4
(期 末) 2026年 5 月20日	11,676		12.7	97.7

(注) 基準価額は 1 万口当たりです。
(注) 騰落率は期首比です。
(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年11月21日～2026年5月20日)



期 首：10,363円

期 末：11,676円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 12.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2025年11月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・ 日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産(コモディティ)を実質的な投資対象としているため、新興国、日本、米国、英国、欧州の株式市場、原油、貴金属、工業金属などの資源資産の価格上昇が基準価額の上昇要因となりました。
- ・ 市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して債券、株式、資源資産の配分を決定した結果、2025年11月以降投資対象国の株式と資源資産の資産配分を多め(オーバーウェイト)としたことが、基準価格の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・ 日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産(コモディティ)を実質的な投資対象としているため、英国、日本、米国などの長期金利の上昇(債券価格は下落)が基準価額の下落要因となりました。

- ・市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して債券、株式、資源資産の配分を決定した結果、2026年2月に金利が低下（債券価格は上昇）した局面で英国、米国、カナダの資産配分を少なめ（アンダーウェイト）としたことが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境

《債券市場》

米国30年国債利回り	5.13%（前期末 4.72%）	英国10年国債利回り	4.99%（同 4.59%）
ドイツ10年国債利回り	3.10%（同 2.72%）	日本10年国債利回り	2.78%（同 1.82%）

※上記は当期末の数値です。

当期の世界の債券市場は、長期金利が上昇しました。米国では2026年2月末に勃発した米国・イスラエルによるイラン攻撃後、原油価格高騰に伴うインフレへの警戒感が強まったことや米連邦準備理事会（F R B）による政策金利の据え置きなどを受けて長期金利は上昇しました。欧州ではイラン紛争の長期化によりエネルギー価格が高騰し、インフレが加速するとの見方が広まったことなどからドイツの国債利回りは上昇しました。

《株式市場》

S & P 500 指数（米国）	+13.7%	F T S E 100 指数（英国）	+9.5%
D A X 指数（ドイツ）	+6.3%	C A C 40 指数（フランス）	+1.7%
T O P I X（東証株価指数）（日本）	+14.9%		

※株価指数の騰落率は当期末時点（対前期末比）の数値です。

当期の世界の株式市場は、上昇して推移しました。2026年2月末に勃発した米国・イスラエルによるイランに対する攻撃を受けて、イランがホルムズ海峡を封鎖したことで原油価格が上昇したことや、プライベートクレジット（ノンバンク融資）に対する信用リスクの高まりなどを背景に一時下落する局面があったものの、4月以降はイラン紛争が収束に向かうとの期待が高まったこと、投資家心理の悪化に歯止めがかかったことなどを受け株価は反発しました。大陸欧州では米国・イスラエルによるイランに対する攻撃を受け、中東紛争が長期化するとの懸念が高まったことから軟調となりました。

《資源資産市場》

エネルギー（W T I 原油）	+51.9%	工業金属（銅）	+25.2%
貴金属（金）	+9.6%	農産物（R I C I）	+9.4%

※騰落率は当期末時点（対前期末比）の数値です。代表的なE T Cの価格を用いて計算しています。

当期の資源資産市場は、エネルギーが大きく上昇、貴金属、工業金属、農産物が上昇しました。

エネルギーは、2026年2月末に米国・イスラエルによるイラン攻撃を受け、原油供給に対する懸念が高まったことなどを背景に、原油価格は大きく上昇しました。工業金属は、イラン紛争の長期化によりサプライチェーンが混乱している一方で、依然として銅需要が旺盛なことが意識され、上昇しました。農産物は、国連食糧農業機関（FAO）の2月の世界食料価格指数が、5カ月連続の下落から上昇に転じたことなどを受けて上昇しました。貴金属は、グリーンランドを巡る地政学リスクの高まりや、米国の財政健全性に対する懸念が広がっていることなどを受け、金価格は上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

インベスコ バランスド・リスク・アロケーション マザーファンド（以下、マザーファンドといます。）を高位に組み入れ、日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産に実質的に投資し、さまざまな経済局面において安定したリターンの獲得をめざしました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）（以下、マネープール・ファンドといます。）を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランスド・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券（円ヘッジ付）に投資を行いました。同外国投資信託では、債券、株式、資源資産の資産配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定しました。また、短期的な市場変化に機動的に対応した運用を行いました。債券、株式への投資は当該資産への直接投資や上場投資信託証券（以下、「ETF」といいます。）への投資の他、デリバティブ取引を活用しました。また、資源資産への投資はETF、指数連動債などへの投資の他、デリバティブ取引を活用しました。

市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して各資産クラスにてロング・ポジションを形成するとともに、短期的な市場変化に機動的に対応するため、独自のモデルによって、以下のような資産配分を行いました。

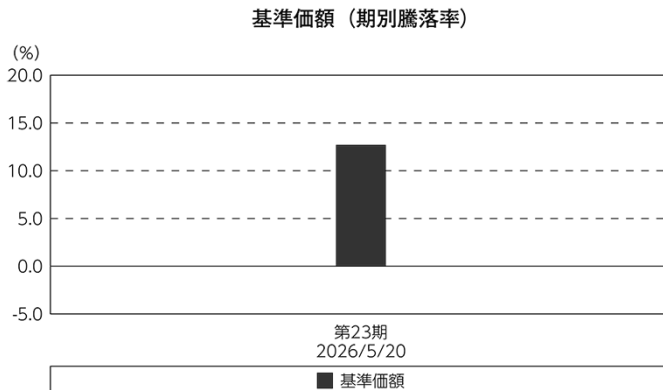
- ・株式は、米国、欧州、英国、日本、新興国は期中オーバーウェイトを継続しました。
- ・債券は、米国とカナダは期初から2025年12月まではオーバーウェイト、その後2026年1月以降からはアンダーウェイト、3月に一時オーバーウェイト、欧州は期初から2月までアンダーウェイト、その後3月からはオーバーウェイトで5月に再びアンダーウェイト、英国は2月を除く期間でオーバーウェイト、日本は4月までアンダーウェイトを継続、5月からはオーバーウェイトとしました。豪州は期初と4月以降を除いてはアンダーウェイトとしました。
- ・資源資産は、エネルギー、工業金属、貴金属は期中オーバーウェイトを継続としました。農産物は期初から2026年2月までアンダーウェイト、3月以降はオーバーウェイトとしました。

マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

右記のグラフは、当期の基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、当期は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第23期
	2025年11月21日～ 2026年5月20日
当期分配金 （対基準価額比率）	— — %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,791

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産に実質的に投資し、さまざまな経済局面において安定したリターンの獲得をめざします。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券(円ヘッジ付)に投資を行います。同外国投資信託では、債券、株式、資源資産の配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定します。また、短期的な市場変化に機動的に対応した資産配分も行います。前記の方針に基づき、毎月月初時点での投資判断をもとにリバランスを行いながら、今後も規律あるプロセスに従った運用を行っていきます。なお、株式、債券、E T F、コモディティ指数連動債などへの投資に加え、デリバティブ取引を活用します。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年11月21日～2026年5月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 51	% 0.469	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(5)	(0.044)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(45)	(0.409)	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	6	0.054	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(2)	(0.017)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(4)	(0.037)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
合 計	57	0.523	
期中の平均基準価額は、10,964円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

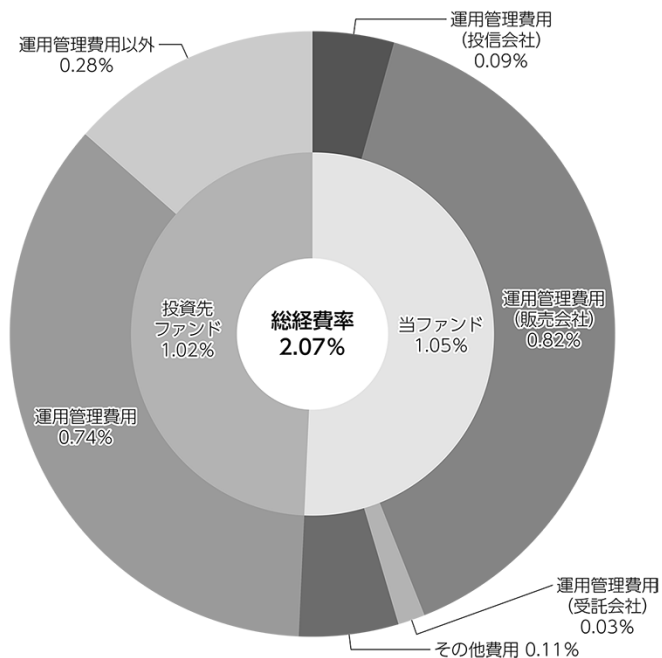
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.07%です。



(単位: %)

総経費率 (①+②+③)	2.07
①当ファンドの費用の比率	1.05
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.28

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、親投資信託を通じて当ファンドが組み入れている投資信託証券および当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年11月21日～2026年5月20日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	千口	千円	千口	千円
		—	—	8,057	8,000

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切捨てています。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド		千口	千円	千口	千円
		39,850	51,410	413,249	500,837

(注) 単位未満は切捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2025年11月21日～2026年5月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年5月20日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	千口	千口	千円	%
	21,148	13,091	13,005	0.9
合 計	21,148	13,091	13,005	0.9

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てています。

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド	1, 529, 164	1, 155, 764	1, 522, 603

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てています。

○投資信託財産の構成 (2026年 5 月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	13, 005	0. 8
インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド	1, 522, 603	99. 0
コール・ローン等、その他	3, 127	0. 2
投資信託財産総額	1, 538, 735	100. 0

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年5月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,538,735,912
投資信託受益証券(評価額)	13,005,025
インベスコ バランス・リスก์・アロケーション マザーファンド(評価額)	1,522,603,818
未収入金	3,127,069
(B) 負債	19,647,906
未払解約金	11,459,594
未払信託報酬	7,335,463
その他未払費用	852,849
(C) 純資産総額(A－B)	1,519,088,006
元本	1,300,984,841
次期繰越損益金	218,103,165
(D) 受益権総口数	1,300,984,841口
1万口当たり基準価額(C／D)	11,676円

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

期首元本額	1,565,723,476円
期中追加設定元本額	44,833,452円
期中一部解約元本額	309,572,087円

○損益の状況 (2025年11月21日～2026年5月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	174,419,868
売買益	196,323,385
売買損	△ 21,903,517
(B) 信託報酬等	△ 8,188,312
(C) 当期損益金(A＋B)	166,231,556
(D) 前期繰越損益金	△140,522,804
(E) 追加信託差損益金	192,394,413
(配当等相当額)	(263,573,649)
(売買損益相当額)	(△ 71,179,236)
(F) 計(C＋D＋E)	218,103,165
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F＋G)	218,103,165
追加信託差損益金	192,394,413
(配当等相当額)	(263,574,102)
(売買損益相当額)	(△ 71,179,689)
分配準備積立金	99,540,698
繰越損益金	△ 73,831,946

(注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。

計算期間末における費用控除後の配当等収益(57,995円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(263,574,102円)および分配準備積立金(99,482,703円)より分配対象収益は363,114,800円(1万口当たり2,791円)となりましたが、基準価額水準、市況動向等を勘案し、当期の分配を見合わせました。

○分配金のお知らせ

当期の収益分配は見送らせていただきました。

○約款変更のお知らせ

- ・2026年4月1日付で、一般社団法人投資信託協会が一般社団法人日本投資顧問業協会と合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更されたことに伴い、信託約款に所要の変更を行いました。(2026年4月1日)

運用報告書

第11期

決算日 2025年11月20日

(計算期間：2024年11月21日から2025年11月20日まで)

運用方針	・主として、別に定める投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界各国の債券、株式、コモディティに投資します。なお、別に定める投資信託証券においては、債券、株式への投資は、当該資産への直接投資の他、先物取引、オプション取引などのデリバティブ取引を活用します。また、コモディティへの投資は、上場投資証券、指数連動債などへの投資の他、デリバティブ取引を活用します。 ・別に定める投資信託証券への投資を通じて、債券、株式、コモディティ3資産の配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定します。また短期的な市場変化に機動的に対応した運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合は、原則として、高位に保ちます。 ・別に定める投資信託証券において、その運用方針として対円で為替ヘッジを行うことを掲げている場合は、原則として為替ヘッジを行いません。別に定める投資信託証券において、為替変動の影響を受ける実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行います。 ・投資対象とする投資信託証券は、委託者の判断により変更することがあります。
主要運用対象	別に定める投資信託証券※ ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランス・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券（円ヘッジ付）です。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・デリバティブ取引の直接利用は行いません。

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<https://www.invesco.com/jp/ja/>

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 証券 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
	円		%	%	百万円
7 期(2021年11月22日)	13,848		15.2	97.4	3,034
8 期(2022年11月21日)	11,736	△	15.3	98.5	3,393
9 期(2023年11月20日)	11,098	△	5.4	96.7	2,742
10期(2024年11月20日)	11,437		3.1	99.0	2,139
11期(2025年11月20日)	11,627		1.7	88.0	1,777

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 当ファンドは債券、株式、資源資産（コモディティ）を実質的な投資対象とし、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮した資産配分を行うため、適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。以下同じです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証券 率
		騰 落	率	
(期 首) 2024年11月20日	円		%	%
	11,437		—	99.0
11月末	11,529		0.8	98.6
12月末	11,248	△	1.7	98.2
2025年1月末	11,475		0.3	98.9
2月末	11,513		0.7	98.4
3月末	11,369	△	0.6	98.9
4月末	11,145	△	2.6	98.0
5月末	11,119	△	2.8	98.8
6月末	11,274	△	1.4	99.3
7月末	11,336	△	0.9	98.7
8月末	11,336	△	0.9	97.7
9月末	11,545		0.9	98.9
10月末	11,755		2.8	98.2
(期 末) 2025年11月20日	11,627		1.7	88.0

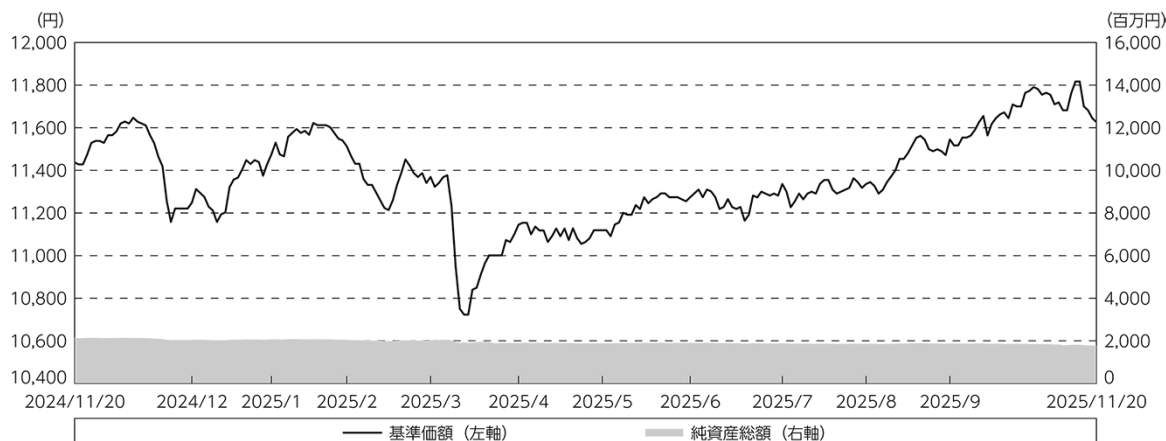
(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年11月21日～2025年11月20日)



期 首：11,437円
 期 末：11,627円
 騰落率： 1.7%

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産（コモディティ）を実質的な投資対象としているため、日本や新興国の株式市場の上昇、カナダ債券、豪州債券、貴金属、工業金属などの資源資産の価格上昇が基準価額の上昇要因となりました。
- ・市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して債券、株式、資源資産の配分を決定した結果、株式市場が上昇する環境下、期を通じて株式の資産配分を多め（オーバーウェイト）としたことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産（コモディティ）を実質的な投資対象としているため、日本、英国、ドイツの長期金利の上昇（債券価格は下落）、エネルギーなどの資源資産の価格下落が基準価額の下落要因となりました。
- ・市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して債券、株式、資源資産の配分を決定した結果、豪州債券の価格上昇時に資産配分を少なめ（アンダーウェイト）、貴金属の価格が上昇する環境下で、期を通じて資産配分を少なめ（アンダーウェイト）としたことが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境

《債券市場》

米国30年国債利回り	4.72% (前期末 4.60%)	英国10年国債利回り	4.59% (同 4.47%)
ドイツ10年国債利回り	2.72% (同 2.35%)	日本10年国債利回り	1.82% (同 1.08%)

※上記は当期末の数値です。

当期の世界の債券市場は、欧州や日本で長期金利が上昇しました。米連邦公開市場委員会（FOMC）で利下げが継続されたことで一時金利が低下（債券価格は上昇）したものの、関税を巡る不透明感からインフレが意識されたことで米国の国債利回りは上昇しました。また、欧州中央銀行（ECB）が利下げを継続したものの、財政拡張的な政権がドイツで誕生したことでドイツの国債利回りも上昇しました。

《株式市場》

S & P 500指数（米国）	+10.5%	F T S E 100指数（英国）	+17.8%
D A X 指数（ドイツ）	+22.5%	C A C 40 指数（フランス）	+10.9%
T O P I X（東証株価指数）（日本）	+22.3%		

※株価指数の騰落率は当期末時点（対前期末比）の数値です。

当期の世界の株式市場は、ドイツや日本などを中心に上昇しました。トランプ新政権による関税の大幅な引き上げによってインフレ率の上昇や景気後退懸念から2025年2月に軟調に推移する局面もあったものの、米中間の関税交渉に一定の進展が見られたことや米国の半導体やAI関連銘柄の決算が堅調だったことで米国の株価は上昇しました。また、欧州のラグジュアリーブランド企業の決算が堅調だったことやドイツで財政拡大政策がとられることが好感され欧州株の株価も上昇しました。

《資源資産市場》

エネルギー（WTI原油）	前期末比△5.2%	工業金属（銅）	+18.5%
貴金属（金）	+54.9%	農産物（RICI）	+1.7%

※騰落率は当期末時点（対前期末比）の数値です。代表的なETCの価格を用いて計算しています。

当期の資源資産市場は、エネルギーが下落、貴金属と工業金属が大きく上昇しました。農産物は小幅に上昇しました。エネルギーは、石油輸出機構（OPEC）が、世界の原油需要の増加見通しを下方修正したことなどを背景に、原油価格は下落しました。工業金属は、トランプ米大統領が銅などの工業金属に輸入関税をかける方針を示したこと、供給不足による価格上昇懸念が高まったことなどを受け、銅価格は大きく上昇しました。農産物は、2025年1－3月期にアルゼンチンの天候不順によるトウモロコシの不作で、需給が逼迫するとの観測が強まったことなどを背景に上昇しました。貴金属は、米連邦準備理事会（FRB）が利下げを継続していることや米国の関税導入による世界経済の不透明感が一層高まったことなどから、金価格は大きく上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

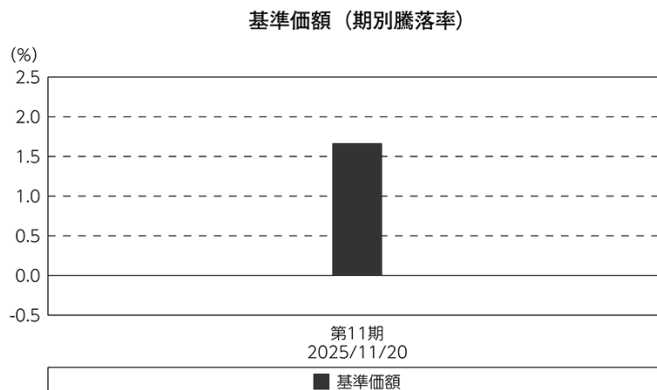
主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券（円ヘッジ付）に投資を行いました。同外国投資信託では、債券、株式、資源資産の資産配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定しました。また、短期的な市場変化に機動的に対応した運用を行うため、独自のモデルによって、以下のような資産配分を行いました。

- ・株式は、日本、米国、英国は2025年4月から5月にかけて一時アンダーウェイト、それ以外はオーバーウェイト、欧州と新興国はオーバーウェイトを維持しました。
- ・債券は、豪州、ドイツ、英国、日本は期初から4月までアンダーウェイト、その後5月から7月にかけてオーバーウェイトとしたものの、その後8月以降は再びアンダーウェイトとしました。カナダは期初と1月ならびに6月から9月までアンダーウェイト、それ以外はオーバーウェイトとしました。米国は期初から3月ならびに6月、8月から10月までアンダーウェイト、それ以外はオーバーウェイトとしました。
- ・資源資産は、エネルギーは2024年12月と2025年6月にアンダーウェイト、それ以外はオーバーウェイト、工業金属は1月ならびに4月から6月までアンダーウェイト、それ以外はオーバーウェイト、農産物はアンダーウェイトを維持しました。貴金属は期初から1月ならびに7月から9月にかけてアンダーウェイト、それ以外はオーバーウェイトとしました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

右記のグラフは、当期の基準価額騰落率です。



○今後の運用方針

主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券(円ヘッジ付)に投資を行います。同外国投資信託では、債券、株式、資源資産の配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定します。また、短期的な市場変化に機動的に対応した資産配分も行います。前記の方針に基づき、毎月月初時点での投資判断をもとにリバランスを行いながら、今後も規律あるプロセスに従った運用を行っていきます。なお、株式、債券、コモディティ上場投資証券、コモディティ指数連動債などへの投資に加え、デリバティブ取引を活用します。

○当ファンドのデータ

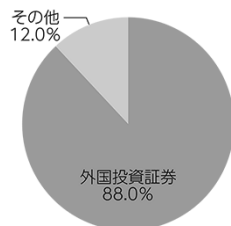
(2025年11月20日現在)

【組入上位ファンド】

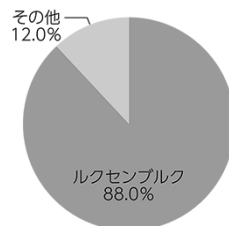
銘柄名	第11期末
インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation	% 88.0
組入銘柄数	1銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

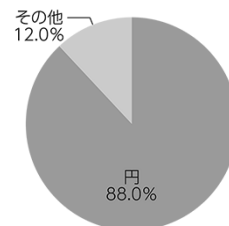
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2024年11月21日～2025年11月20日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2024年11月21日～2025年11月20日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation	千口 —	千円 —	千口 464	千円 579,617

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2024年11月21日～2025年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年11月20日現在)

国内投資信託証券

銘 柄		期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
	インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation	1,704	1,239	1,565,356	88.0
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	1,704 1	1,239 1	1,565,356 <88.0%>	

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てています。

○投資信託財産の構成

(2025年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資証券	1,565,356	87.8
コール・ローン等、その他	217,150	12.2
投資信託財産総額	1,782,506	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年11月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,782,506,174
コール・ローン等	28,448,796
投資証券(評価額)	1,565,356,065
未収入金	188,701,041
未収利息	272
(B) 負債	4,520,631
未払解約金	4,520,631
(C) 純資産総額(A－B)	1,777,985,543
元本	1,529,164,009
次期繰越損益金	248,821,534
(D) 受益権総口数	1,529,164,009口
1万口当たり基準価額(C／D)	11,627円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

- 期首元本額 1,870,580,638円
 期中追加設定元本額 96,658,843円
 期中一部解約元本額 438,075,472円
- 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額
 インベスコ プレミア・プラス・ファンド 1,529,164,009円
 合計 1,529,164,009円

○損益の状況 (2024年11月21日～2025年11月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	87,803
受取利息	87,803
(B) 有価証券売買損益	26,837,474
売買益	31,257,978
売買損	△ 4,420,504
(C) 当期損益金(A＋B)	26,925,277
(D) 前期繰越損益金	268,831,510
(E) 追加信託差損益金	11,987,664
(F) 解約差損益金	△ 58,922,917
(G) 計(C＋D＋E＋F)	248,821,534
次期繰越損益金(G)	248,821,534

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○約款変更のお知らせ

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書」を規定した条文および関連条文について、信託約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日)

(参 考 情 報)

ルクセンブルグ籍外国投資法人 インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド

「インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド」が主要投資対象として
いる「インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド」の直近の情報は以下の通
りです。

当ファンドは、「インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド」が投資
対象とするルクセンブルグ籍外国投資法人が発行するクラスC-Accumulation投資信託証券（円ヘ
ッジ付）です。

○ファンドの仕組み

形 態	ルクセンブルグ籍外国投資法人
投 資 対 象	債券、株式、コモディティの3資産に投資します。
運 用 方 針	・ 伝統的な金融市場と低中相関で、中長期的にトータル・リターンを得ることを目標とします。 ・ 3資産への投資に当たっては、景気減速期、経済成長期、インフレ期といった経済環境において異なる値動きをする資産間で、戦略的配分および戦術的配分を行います。 ・ 原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。
管 理 会 社	インベスコ・マネジメント・エス・エイ
投資顧問会社	インベスコ・アドバイザーズ・インク
決 算 日	毎年2月末
分 配 方 針	分配は行いません。

インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンドは、現地の法律に基づいて財務諸表が作成され、公認会計士により財務書類の監査を受けております。以下に掲載している情報は、2025年2月28日現在のFINANCIAL STATEMENTSから抜粋しております。

○損益計算書及び純資産額変動計算書

	(2025年2月28日に終了した年度) (単位：ユーロ)
収益	
受取配当金	2
受取利息（債券）	4,331,541
マーケットディスカウントの増価／（マーケットプレミアムの償却）	17,675,893
預金利息	2,270,302
スワップに係る純受取利息	379,567
証券貸付利息	231,628
その他収益	71,396
	24,960,329
費用	
運用及び投資顧問会社報酬	9,830,237
サービス代行報酬	1,987,760
保管報酬	103,240
税金	395,524
事務代行費用	130,770
スワップに係る支払純利息	8,943,552
その他運営費用	6,719
その他支払利息	38,086
	21,435,888
当期投資純利益／（損失）	3,524,441
支払及び未払分配金	(470,811)
受益証券発行／（買戻）による純収益／（支払）金	(480,585,007)
投資有価証券、デリバティブ及び外国通貨の処分に係る実現純利益／（損失）	49,631,370
為替先物予約に係る未実現評価益／損の純変動額	(257,241)
先物契約に係る未実現評価益／損の純変動額	(20,436,568)
コモディティ・スワップに係る未実現評価益／損の純変動額	106,964
トータル・リターン・スワップに係る未実現評価益／損の純変動額	(7,324,897)
オプション／スワップションに係る未実現評価益／損の純変動額	671,108
投資有価証券に係る未実現評価益／損の純変動額	13,186,167
外国通貨及びその他取引に係る未実現評価益／損の純変動額	80,974
期首純資産額	1,152,811,496
期末純資産額	710,937,996

○投資有価証券明細表

(2025年2月28日現在)			
銘柄	額面／株数	時価 (ユーロ)	純資産に占める 割合 (%)
公的な証券取引所に上場を認められているまたは他の規制市場で取引されている譲渡性のある有価証券			
債券			
カナダ			
Royal Bank of Canada/London 0% USD 02/05/2025	24,900,000	26,145,472	3.68
ドイツ			
German Treasury Bill 0% EUR 19/03/2025	25,000,000	24,976,000	3.51
German Treasury Bill 0% EUR 16/04/2025	50,000,000	49,873,000	7.02
German Treasury Bill 0% EUR 14/05/2025	36,000,000	35,843,400	5.04
German Treasury Bill 0% EUR 18/06/2025	25,000,000	24,843,375	3.50
German Treasury Bill 0% EUR 16/07/2025	50,000,000	49,605,250	6.98
German Treasury Bill 0% EUR 20/08/2025	50,000,000	49,512,500	6.96
German Treasury Bill 0% EUR 17/09/2025	25,000,000	24,713,875	3.48
German Treasury Bill 0% EUR 15/10/2025	50,000,000	49,364,750	6.94
German Treasury Bill 0% EUR 19/11/2025	100,000,000	98,548,000	13.86
		407,280,150	57.29
オランダ			
Dutch Treasury Certificate 0% EUR 29/04/2025	35,000,000	34,875,171	4.90
債券合計		468,300,793	65.87
証書			
アイルランド			
Invesco Physical Gold ETC	113,000	29,974,103	4.22
証書合計		29,974,103	4.22
公的な証券取引所に上場を認められているまたは他の 規制市場で取引されている譲渡性のある有価証券合計		498,274,896	70.09
定期預金			
Societe Generale SA 3.205% EUR	101,000,000	101,000,000	14.21
定期預金合計		101,000,000	14.21
オープン・エンド型投資信託			
アイルランド			
Invesco Liquidity Funds plc - Invesco Euro Liquidity Portfolio	14,718,418	15,474,738	2.18
Invesco Markets II plc - Invesco MSCI Emerging Markets UCITS ETF	940,000	47,814,636	6.72
		63,289,374	8.90

インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド

銘柄	額面／株数	時価 (ユーロ)	純資産に占める 割合 (%)
オープン・エンド型投資信託合計		63,289,374	8.90
投資有価証券合計		662,564,270	93.20

利率は、2025 年 2 月 28 日現在のものです。

(参 考 情 報)

インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）

○ファンドの仕組み

商 品 分 類	追加型投信／国内／債券
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行います。
主要運用対象	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
組 入 制 限	・株式への投資は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建て資産への投資は行いません。
分 配 方 針	原則として年1回の毎決算時（11月20日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

○組入資産の明細

(2025年11月20日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円	千円	%	%	%	%	%
	24,000	23,984	91.8	—	—	—	91.8
	(24,000)	(23,984)	(91.8)	(—)	(—)	(—)	(91.8)
合 計	24,000	23,984	91.8	—	—	—	91.8
	(24,000)	(23,984)	(91.8)	(—)	(—)	(—)	(91.8)

(注) ()内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 残存期間が1年以内の公社債は原則としてアキュムレーションまたはアモチゼーションにより評価しています。

(注) 金額の単位未満は切り捨てています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末				
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
第1311回国庫短期証券	—	8,000	7,998	2025/12/10	
第1335回国庫短期証券	—	8,000	7,994	2026/ 1 /13	
第1343回国庫短期証券	—	8,000	7,991	2026/ 2 /16	
合 計		24,000	23,984		

(注) 金額の単位未満は切り捨てています。

○損益の状況

(2024年11月21日～2025年11月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	80,029
受取利息	80,029
(B) 有価証券売買損益	410
売買益	305
売買損	105
(C) 信託報酬等	△ 69,390
(D) 当期損益金 (A + B + C)	11,049
(E) 前期繰越損益金	△ 13,244
(F) 追加信託差損益金	△185,507
(配当等相当額)	(△ 6,287)
(売買損益相当額)	(△179,220)
(G) 計 (D + E + F)	△187,702
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金 (G + H)	△187,702
追加信託差損益金	△185,507
(配当等相当額)	(△ 6,287)
(売買損益相当額)	(△179,220)
分配準備積立金	11,734
繰越損益金	△ 13,929

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。
計算期間末における費用控除後の配当等収益 (10,993円)、費用控除後の有価証券売買等損益 (0円)、および分配準備積立金 (741円) より分配対象収益は11,734円 (1 万口当たり4円) となりましたが、基準価額水準、市況動向等を勘案し、当期の分配を見合わせました。